

つばさ 翼

No.79

発行日 令和5年7月

尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院

〒722-0393

広島県尾道市御調町市124番地

TEL 0848-76-1111 (代表)

FAX 0848-76-1112

<http://www.mitsugibyouin.com>

ごあいさつ

このたび、公立みつぎ総合病院副院長兼看護部長を拝命いたしました。皆さまには日ごろから病院運営にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

当院では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、長期にわたり面会制限をさせていただいておりましたが、5月8日から5類へと移行され、制限付きではあります。5月9日より面会を再開させていただきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではありません。職員一同、引き続きマスクの着用、手洗い、体調管理を徹底し感染防止に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症ですが、当院では令和4年8月に病院機能評価を受審する予定になっておりました。ところがクラスターが発生し、受審が令和5年5月23～24日まで延期となってしまいました。病院機能評価とは、病院の運営管理や医療提供体制の整備状況について評価を行うものです。第三者機関である「日本医療機能評価機構」が審査を行い、「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践1」「良質な医療の実践2」「理念達成に向けた組織運営」の4つの領域について評価が行われ、認定は5年で更新となっています。当院は、平成15年1月に認定を受け、その後4回更新し今回は5回目の更新となりました。今回の受審は新体制になってから2カ月もなく準備は大変でしたが、職員間で連携し無事2日間の受審を終えることが出来ました。最後の講評ではいくつかの指摘事項はありましたが、おおむねよい評価をいただきました。玄関に設置してある地域包括ケアシステムのパネルを視られたサーベイヤー（評価調査者）からは、「さすが地域包括ケアシステム発祥の地ですね。素晴らしいです」。また、別のサーベイヤーからは「カンファレンスの記録もきちんとされていて、多職種で連携されていることがよくわかりました」というお言葉をいただきました。

当院は、急性期医療、疾病の予防と治療、リハビリテーション、施設・在宅ケア、さらに福祉サービスを含む地域包括医療・ケアを提供しています。看護部では「全人的看護の実践」を理念とし、良質な看護を提供することで、地域の皆さまから親しまれ信頼されるよう、日々努力しています。



副院長 兼 看護部長
植田 香織



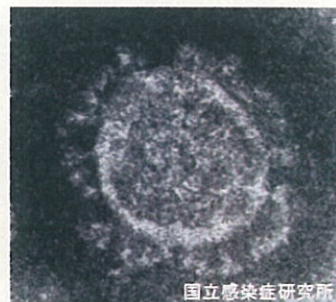
地域包括ケアシステムのパネル

今後も保健・医療・介護・福祉の連携を密にし、住民の皆さまが住み慣れた地域で安心して、その人らしい自立した生活を送っていただけるように、チーム医療の充実を図っていきます。そして、地域の皆さまに愛され信頼される看護師の育成に努めてまいります。

医療最前線

新聞報道や風の噂で、皆さまご存知かもしれませんが、当院は昨年度、2度のクラスターが発生し、住民の皆さま、関係医療機関、各方面にご迷惑、ご心配をおかけしました。

振り返ってみますと、2020年1月中国武漢市で爆発的感染がおこり、日本では2020年2月ダイヤモンドプリンセス号の横浜寄港時の感染者の対応が注目され、2020年3月には有名人の志村けんさんが亡くなり、衝撃的でした。



国立感染症研究所

その後、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発動され、一旦感染が下火になっても、ウイルスが変異して、新しい波(流行)を繰り返し、変異株のアルファ株、デルタ株、オミクロン株につながり、現在に至ります。

3月13日からマスク着用が個人の判断になり、5月8日からは新型コロナウイルス感染症は2類相当から5類相当に下がり、ともすると普通の風邪になったと思われるかもしれませんが、決してそうではなく、60代、70代、80代、90代と階段状に重症化率、致死率が上昇し、90代でワクチンを接種していない方は重症化率が約10%になります。

そのため、ご高齢の方の外来、入院が多い当院では今まで通りマスク着用をお願いし、面会は入院患者さまを守るために、平日午後に面会人数をしぼって、10分以内としております。詳細は病院ホームページに掲載しております。ご了承ください。

5類移行に際して、変わることは法律として、保健所への連絡は不要となり、感染者の入院勧告や外出制限も無くなります。しかしコロナウイルスの感染力が何ら変わるわけではありませので、発症翌日から5日間(5日以上発熱が持続する場合は解熱後24時間まで)の外出自粛、あまり強調されていませんが、10日間はマスク着用や高齢者との接触回避が望まれます。濃厚接触者に待機の規定は無くなりましたが、体温を含めたセルフ健康チェックと高齢者との接触回避が望まれます。しかし一般社会では感染者との接触が増え、市中感染やクラスターが生じ易くなる可能性があります。

医療費は外来費用、入院費用、検査も有料となります。高額な治療薬は9月までは公費負担で調整されているようですが、医療費の一部負担が増えれば、受診抑制がかかり、重症化してから受診する方が増える可能性があります。重症化してから受診されると、予後が悪くなり、手遅れになったり、後遺症に苦しむことにつながり易くなります。

政府は全ての医療機関での新型コロナウイルス感染症の受診を目指す方針ですが、実際の受入れは各医療機関が判断するため、地域によっては医療がひっ迫する可能性があります。

No.56

新型コロナウイルス感染症(COVID-19) ～5類移行に際して～



リハビリテーション科 部長
坪河 太

当院は今まで通り受け入れ予定ですが、地域の医療状況は変動しますので、コロナ疑いの発熱の受診の際には事前の電話相談をよろしくお願いします。

ワクチンについて、少なくとも2023年度は自己負担無しが継続されます。今年度は春の接種(5～8月)と秋の接種(9～12月)の計2回あり、春の対象は65才以上の高齢者や64才以下の基礎疾患がある方と医療・介護従事者で、もう既に始まっております。秋の対象は5才以上の全員で、高齢者や基礎疾患のある方、医療・介護従事者は今年度、春と秋の2回接種することになります。

ワクチンは副反応が一定の割合で生じます。しかし先程重症化に年齢の影響があると言いましたが、ワクチン接種の有無は年齢以上に重症化に影響します。確かにインフルエンザの予防接種と同様、ワクチンを接種しても発症する場合がありますが、重症化させ難くする効果は確実にありますので、過敏症のある方以外は接種をお勧めします。

この文章が皆さまのお手元に届くのは7月予定ですが、文章を作成したのは5月ですので、5月時点での考えです。最近各地で新規感染者がじわじわと上昇傾向にあり、お届けする頃がXBB株による第9波の真っ只中でないことを願っています。

よろしくお願いします。

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

報告日別新規陽性者数

令和5年5月8日0時時点



地域密着型特養「ふれあい」

「仮想観光バス旅行」

地域密着型特養「ふれあい」は、地域の皆さまとの交流を通して、明るく潤いのある生活が営まれるよう、開かれた施設づくりを推進しています。

コロナ禍における感染拡大防止目的にて行事は中止していましたが、このたび感染の防止に配慮した上、「仮想観光バス旅行」を開催しました。

パネルや映像等を利用し、入居者さまなじみの地域である、尾道市や府中市の観光地を巡りました。お祭り体験として尾道市のベッチャー祭りを再現し「痛いところや悪いところはどこですか?」と聞くと「肩が痛い」「頭が痛いんよ」と言われ、痛い箇所に祝い棒を当てると笑顔が見られました。バスツアー終了後、入居者さまからは「昔訪れた場所が見られてよかった」「昔を思い出した」と喜ばれていました。

コロナ禍が明けた後には、地域の皆さまとの交流を深めることが出来るような行事を行い、入居者さまが笑顔で楽しみのある生活を継続できるよう、今後も取り組んでいきたいと思っています。



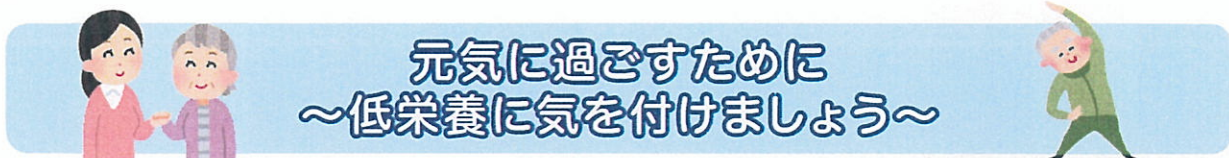
グループホーム「かえで」

グループホーム「かえで」では、入居者さまが職員と共に、四季折々の野菜や花を育てて収穫を楽しみに過ごされています。

入居者さまは毎日のように「出来る事はするから言うてね」と自宅での畑仕事のように、草取りをしてくださいます。春の豆の収穫では、「この豆は採り頃じゃね」「これは大きゅうなり過ぎとるわ。あんまり大きゅうなったら硬とうて食べれんわ。年取ったら歯も悪うなるとるけえね」「後で筋を取らにやあいけんね」と、自然と会話が弾み、表情も生き生きと慣れた手つきで作業をされました。

収穫した旬の野菜を、グループホーム内で調理し、日々の食卓に提供しています。調理や食器洗い等、様々な家事作業も職員と一緒にされる中で、一人一人が役割をもって生活されています。菜園での活動を通して、移り行く季節を感じながら、「かえで」での自立した生活が居心地良く継続できるよう今後も寄り添いながら支援していきます。





管理栄養士 日野 公恵

食欲の低下や食事の偏りによって、元気に過ごすために必要な栄養が足りない状態を「低栄養」と言います。元気に過ごすために、しっかり栄養を摂ることは大切です。

●●●●●●●●●● ~食事での低栄養予防のポイント~ ●●●●●●●●●●

●1日3食バランスよく食べましょう



※食欲がない時や体調がすぐれない時には、3食食べることにこだわらず、「少しずつ何回かに分けて食べる」、「おかず（主菜）を優先して食べる」といった工夫をしましょう。

●水分補給も忘れずに

水分補給はこまめに少しずつ、何度かに分けて飲むようにしましょう。



●間食（おやつ）も活用しましょう

食欲がない時、ヨーグルト、プリン、アイスなどの乳製品を間食で摂ることをおすすめします。糖尿病の方は、糖分が多いものの摂り過ぎに気をつけましょう。

●体重測定をしましょう

体重は健康をあらわす判断基準の1つです。定期的に体重測定をしましょう。



🌻 たんぱく質や脂質をプラスして ソーメン1品でも栄養満点に！

【具にプラス】

- ・たまご（温泉卵、炒り卵）
- ・魚缶詰（ツナ、鯖など）
- ・刺身
- ・肉味噌
- ・サラダチキン
- ・冷しゃぶ
- ・ハム、焼き豚
- ・納豆



【麺つゆにプラス】

- ・ごま油
- ・オリーブオイル
- ・ラー油
- ・ごま（すりごま）

その他、野菜も一緒にトッピングすると、1品でもいろいろなものが食べられます。

※当院では入院・外来・訪問にて栄養指導を行っています。
食事に関して気になる方は、主治医にご相談ください。

人間ドックを受診しましょう!

人間ドックは1日ドックと2日ドックの基本検査項目に加え、脳ドックなど各種のオプション検査を用意しています。

受診日当日に医師による健診結果の説明と保健師による保健指導を全員に実施しています。また、健診後のフォローで継続的な関わりを持たせていただいています。

健康で充実した日々を過ごしていただくため、年に一度は人間ドックを受診して健康管理にお役立てください。皆さまの満足と安心を大切に、スタッフ一同笑顔でお待ちしています。



●受診コース一覧

	健診日	所要時間	昼食	料金(税込)
日帰りドック	月～金	午前8時20分～午後2時頃まで	あり	36,300円
1泊2日ドック	月・木	午前8時20分～翌日の午後1時頃まで	あり	58,850円
脳ドック	水・金	午後1時～午後3時頃まで	—	34,100円
日帰り+脳ドック	月～金	午前8時20分～午後2時頃まで	あり	60,500円
1泊2日+脳ドック	月・木	午前8時20分～翌日の午後1時頃まで	あり	79,750円

- ・健診料金は全額自己負担で受診した場合のセット料金です。
- ・お申し込みの団体（保険者や事業所）によっては、検査内容が一部異なる場合があります。
- ・健診費用や助成（補助）についても、お申し込みの団体にお問い合わせください。
- ・1泊2日コースの宿泊料金は健診料金に含まれています。
- ・その他各種オプション検査をご用意しています。お気軽にお問い合わせください。
- 発熱があるなど、体調不良が認められる方は、後日、体調が回復してからの受診をお願いしています。
- 来院時には、マスクの着用にご協力をお願いします。

動脈硬化度検査（血管年齢検査）をしてみませんか？

人間ドック・健診のオプション検査として動脈硬化度検査を行っています。手と足の血圧の比較や脈波の伝わり方を調べることで、動脈硬化の程度を数値として表します。この検査を行うことにより動脈硬化（血管の老化など）の程度や早期の血管障害を検出することができます。検査はとても簡単（実際の測定にかかる時間は5分程度）で、血圧を測るのと同じ感覚で検査できます。年一回の人間ドックで測定されてみてはいかがでしょうか。



ご予約の際に、事前にお申込み下さい。【オプション検査料金 1,430円（税込）】
その他各種オプション検査をご用意しています。お気軽にお問い合わせください。



公立みつぎ総合病院は「人間ドック健診施設機能評価認定施設」および「日本人間ドック学会保健指導実施認定施設」です。

人間ドック・健診のご予約、お問い合わせ

公立みつぎ総合病院 人間ドック健診受付 TEL 0848-76-1111 (代表)

職員の紹介

公立みつぎ総合病院
に入職して2年目になり
ます。

2病棟に配属され、初
めは病棟の雰囲気・環境
に慣れていくことに精一
杯でした。まずは覚える
ところからでしたが、でき
ることも増え、医療的処置の介助にもつかせ
ていただき日々学びを深められています。

目の前の患者さまを自ら看護していく中
で、時に難しさを感じることもたくさんあり
ますが、一つ一つの経験がこの一年で自分
自身の成長に繋がったと感じます。まだまだ
未熟ですが、先輩方に指導していただき
ながら、日々の仕事に向き合っていくととも
に、患者さまのニーズに合わせた看護を提
供できるよう時には息抜きも大切にし、頑
張っていきます。



看護師
ふくしげ
福重 すみれ

事務職員として入職し
総務課に配属され4年目
になります。総務課では
病院に届く郵便物の処
理や、職員の給与・保険
などの労務関係まで幅広
い仕事をしています。ま
た、入職してから産休育
休をいただき、家庭では一児の母でもあり
ます。おかげさまで元気に成長しているか
わいい子どものイヤイヤ期に振り回される
慌ただしい日々ですが、上司や先輩方、家
族に支えられてどうにか仕事と家庭の両立
をはかれています。

そんな公私ともにまだまだ未熟な私では
ありますが、医療現場のサポートや病院経
営に携わる一員として、地域医療を支えて
いけるようこれからも精進してまいります。



主事
たにしり ひろこ
谷尻 博子

理学療法士として入職
し2年目になりました。現
在リハビリテーションセ
ンターで勤務していま
す。患者さまは介護サー
ビスを利用しながら在宅
生活を送られている方が
多く、生活機能の維持を

目的として関わらせていただいています。先
輩方のサポートのおかげで業務にも少しづ
つ慣れ、患者さまの生活場面での思いや希
望を伺いながらより具体的にリハビリを行
えることに日々やりがいを感じています。

まだまだ知識・技術ともに未熟ではあり
ますが、患者さまの生活に寄り添い、思い
を支援できるような療法士を目指して日々
努力していきます。今後ともよろしく願い
いたします。



理学療法士
ひさやす あや
久安 綾

公立みつぎ総合病院
に入職して1年が経ちま
した。優しい声かけをし
てくださるスタッフのも
と、安心して働くことが
できています。

公認心理師という国
家資格が出来たのは、つ

い5年ほど前のことなので、馴染みのない方
も多いかと思います。公認心理師は「ここ
ろ」を専門にしているお仕事です。患者さま
はもちろん、ご家族や働くスタッフのこころ
の健康に貢献できたらと思い、まずはじっ
くりとお話を伺い、私にできることは何かを
考えながら働いています。これからもたくさ
んのことを学ばせていただきながら、日々
努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



公認心理師
たなか ゆうか
田中 悠香

訪問看護ステーション「みつぎ」

～24時間・365日安心を支える
訪問看護サービス～

訪問看護ステーション「みつぎ」では、看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの専門職が医師の指示にもとづき、24時間対応体制をとり、自宅はもとよりサービス付き高齢者住宅・グループホームなどにも訪問しています。

訪問看護では

- ① 医師の指示による点滴、カテーテル管理（胃ろうなど）・インスリン注射の管理など
- ② 身体の清拭・洗髪・入浴介助・排泄の介助・床ずれ予防や処置・薬の管理指導などの療養生活上の看護
- ③ 人工呼吸器・在宅酸素など医療機器管理
- ④ 小児や精神疾患・認知症などの看護
- ⑤ がん・難病など施設や緩和ケア病棟などとの連携による終末期ケア（在宅での看取り）
- ⑥ 拘縮予防や歩行、嚥下などの機能練習、在宅でのリハビリテーションなどを行っています。

また、医療ニーズをかかえて退院される利用者さま及びそのご家族に向けても、病院スタッフ・地域包括ケア連携室・ケアマネジャーなど、多職種・多機関などと連携して相談や訪問を行っています。小児から高齢者まで、安心して住み慣れた地域で生活できるよう、支援させていただきます。ぜひご相談ください。



訪問リハビリの場面



ケアの一場面



医療機器の管理

●問い合わせ先 訪問看護ステーション「みつぎ」 TEL 0848-76-2811

公立みつぎ総合病院 ホームヘルプステーション

ホームヘルプステーションは、介護保険の訪問介護と介護予防訪問サービスを提供するとともに、障害福祉サービスである居宅サービスも提供しています。訪問介護は、利用者さまの「生活の支援」であり、利用者さまはもとより介護者の介護量軽減を図り、可能な限り居宅において自立した生活を営むことができるよう、他職種との連携を図り、利用者さまのニーズに沿い、支援を行っています。



訪問介護スタッフ

●問い合わせ先 御調保健福祉センター内 TEL 0848-76-2235

ご意見、ご感想をお聞かせください

患者さまならびに地域の皆さまと共に作成したいと考えております。ご要望をお待ちしております。

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956
E-mail: tiiki@mitsugibyouin.com
ホームページは「みつぎ病院」で検索

発行：尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会